

大阪医科薬科大学 CST 研修 参加者感想一覧

学部生

●2024 年度：一般・消化器外科学

今回の CST 実習を通して、外科医を目指している私にとって、6 年生の今改めて解剖学に触れることができ、以前とは違った視野をもち勉強することができました。到着時にはすでに終わっている部分もありましたが、縫合の手技や解剖学の把握、手術のアプローチの仕方などと様々なことを先生に教えていただき、来年以降のモチベーションにもなりました。もし今後このような機会があればぜひ進んで参加していきたいと考えております。このような貴重な機会をくださいました献体をしてくださったご家族の皆様、そしてお忙しい中開催してくださった解剖学教室の皆様と消化器外科教室に大変御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

●2024 年度：一般・消化器外科学

まず今回、このような機会を設けていただき本当にありがとうございました。私たちの学年はコロナの影響で解剖実習を行うことができなかったため、少しでも多く解剖学に触れたいと思い、今回参加させていただきました。私は将来、病気で苦しむ日本の子供達が元気に生きていけるように、外科的に手を加えて、支えていきたいと考えています。先日の CST 実習を通して、改めて、ご献体や患者さんのご協力があって医療が進歩することを認識したと共に、そこから得たものを、後進に還元する責任があることを実感しました。良い医師になれるように、これからも努力していきます。お忙しい中、開催してくださった多くの先生に感謝申し上げます。この度はまことにありがとうございました。

●2024 年度：整形外科

この度の CST 実習において何よりも有り難かった点は、現役の整形外科の先生からマンツーマンで直接指導していただいた点です。それも、教えていただいた技術を直ちに貴重なご献体で、先生に見守られながら実践できました。このような贅沢な経験を無料でさせていただいても良かったのでしょうかと感じました。手根管開放術、肘部管開放術、膝関節の解剖のレクチャーを通して、単縫合、真皮縫合、Z 形成術といった基本的な外科手技に対する理解も深まりました。特に器械結紮の結びを強くする技術、真皮縫合における運針のコツは目から鱗で、それを学べただけでも参加してよかったと感じるほどでした。今回は 2 回生の解剖学実習とは違い、各診療科の基礎知識について学び、様々な手術を見学し、ある程度の種類の外科手技について教わった状態で臨ませていただきました。そして、外科の技術を身に付けたいという目的を持って参加させていただいたので、2 回生の頃とは違った観点で実習に臨めました。とても有意義な学びができた実感しているので、マッチングや西医体、試験と被らなければ来年度の参加も考えています。改めて、CST 実習を開催、運営してくださった解剖学教室の先生、ご指導くださった先生、そして私たち学生の為にご献体してくださった方とその御家族へ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

●2024 年度：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

頭頸部、耳鼻咽喉科の CST 実習に参加させていただき、頸部や鼻腔、耳の解剖、気管切開の手技などを見学し、解剖や手技の理解を深めることができました。特に気管切開については、これまで臨床現場で2回見学したものの、何をしているか理解が及びませんでした。今回の実習を通じて、解剖とともにしっかりと理解することができました。その後、再び気管切開を見る機会があり、今度こそ内容を理解しながら見学することができました。今回初めて CST 実習に参加しましたが、医学生の育成や医師の技術向上において、とても重要な取り組みだと実感しました。貴重な機会をいただき、心より感謝申し上げます。

●2024 年度：整形外科/一般・消化器外科学/脳神経外科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

CST 実習の4日間ありがとうございました。自分は2年生の解剖学時にきちんと勉強しておらず再度解剖の勉強をやり直したい、また実際の手術で行うアプローチに基づいた外科的手技も勉強したいと考えていた中で CST 実習という貴重な機会をいただきました。臨床の先生の手技を手本にしてさらに実際に自分で手技の練習ができたり、また臨床上重要な視点についても先生から細かく教えていただき文字通り目からウロコでした。一方で解剖の手順や振り返りができ、基本的な解剖の重要性についても再認識できました。ぜひ来年も CST 実習があれば参加したいです。どうぞよろしくお願いします。

●2024 年度：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

手術を実際に見学することで、今までの授業で文章だけだった内容がイメージと結びつき、理解が深まりました。実際に電気メスを使い、リンパ節郭清の様子を見たりすることで、外科の授業で電気メスやリンパ節郭清といったワードが出てきた際に、どのように手術をしているのか想像しやすくなりました。3回生にもかかわらず、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

●2024 年度：一般・消化器外科学/耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

今回は貴重な機会をいただきありがとうございました。初めて電気メスを用いたり、器械結びを教えていただいたりととても有意義な時間でした。臨床の先生がいらしたことで、どうしたら上手い手術ができるのか、実際の手術のお話を聞いたのも大変興味深かったです。また解剖知識の大切さを改めて感じ、今回の経験を将来に役立てていけるように、普段の講義、試験勉強もより一層頑張ろうと思いました。今回の実習で自分がどの分野に興味があるか、どの科に進みたいか決める手助けになったと思います。今度またこのような機会がありましたら、是非もう一度参加したいと思いました。本当にありがとうございました！

●2024 年度：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

この度は貴重な勉強の機会をいただきありがとうございました。電気メスや縫合の体験ができたことが新鮮な体験でした。また、先生の話聞く中で重要な血管や神経は必ず覚えなければいけないと感じ気が引き締められました。その後、スライドを確認し復習しました。エルブスポイントや頸動脈鞘の内容物などは完全に忘れていました。解剖学を定期的に復習します。このような勉強会があれば参加したいと強く思います。本当にありがとうございました。